
Muralhas e Torreões de Lagos

について



ラゴスの城壁と小塔

ラゴスの町を包み込むようにして建つ城壁は、海賊や敵の艦隊から町を守るために、ドン・マヌエル1世 (D. Manuel I)、ドン・ジョアン3世 (D. João III)、フィリペ1世 (Filipe I) の3つの時代にわたって建てられたもので、エンリケの記念の年にあたる1960年に修復されました。

かなりの長さがあり、保存状態も良いことから、この城壁は、アルガルヴェでも最も重要な場所の1つとなっています。また、いたるところにある砦やゲート [サンタ・マリア (Santa Maria)、プラッサ・デ・アルマス (Praça de Armas)、コンセイソン (Conceição)、アルカリア (Alcaria) / フレイラス (Freiras)、ポルタ・ドス・クアルトス (Porta dos Quartos)、サント・アマロ (Santo Amaro) / パイオル (Paiol)、サン・フランシスコ (São Francisco)、トレム (Trem) の塔] からは、町を一望することができます。

問い合わせ先

Jardim da Constituição - Lagos
